

時間割コード	G1D11129	開講年度	2026			
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)				担当教員	HARVEY JOHN JUSTIN
英文授業名	Academic English Phase I (A)					
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生
講義室	共通教育 2 5 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンベンション	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	大学D P					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・Academic Reading: アカデミックレベルの語彙を修得し、文法や構文の正しい理解を基に学術的な英文を読解する。 ・Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。					
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression					
(6)授業計画	1. Hello. Talking together. 話し合い。尋ねる。まとめる。分かりやすくに。 2. Mini discussion. Mini presentation. Take notes. Speak clearly. Write clearly. 3. Work, travel. Ask questions. Check information たずねる。たしかめる。 4. Writing clearly. Saying true things (...is it really true? Only half true? Is it helpful to say it?) 5. What's a healthy life? What's a good life? 6. Jobs, work, helping 7. Shopping, money, tax 8. Family, home-making 9. School, society 10. "How to..." : how to make/do something 11. Nature and technology 12. Ask for and give advice 13. Other ways of living. Our future. 14. Start test: final presentations 15. Continue final presentations. 16. Final written test. 授業アンケート					
(7)成績評価の方法	・Academic Reading/Academic Writingに関する授業期間中の習熟度を測る課題 (60%) ・期末テスト (40%)					
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。					
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・Please check our eAlps course page for homework after each class.					
(10)履修上の注意	Please bring your smartphone and use it to check in. But then keep it in your bag, and only use it if I ask you to!					
(11)質問,相談への対応	If you have any questions or comments, please feel free to say things during or after class.					
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。					

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	無し
【参考書】	無し